

# 水田転換畑におけるナタネの播種方法

福島県農業総合センター 作物園芸部畑作科

## 1 部門名

普通畑作物－その他－

## 2 担当者

平山孝

## 3 要旨

ナタネは水田転換畑では著しく生育・収量が低下するが、小畦立機＋播種機による「畦立条播」、または散播後に小畦立を行う「散播後畦立」によって、湿害がある程度まで回避できる。

- (1) 農業総合センター内の水田転換畑では、2012年播種分は平畦散播に比べて畦立条播が8割増、散播後畦立が6割増、2013年播種分はそれぞれ5割増、4割増となった。
- (2) ただし、2013年は著しい湿害によって全区で収量が低くなり、小畦立だけでは不十分であった。湿害の危険性の高いほ場では明暗渠、深耕、高畦など他の湿害対策も併せて行う必要がある。

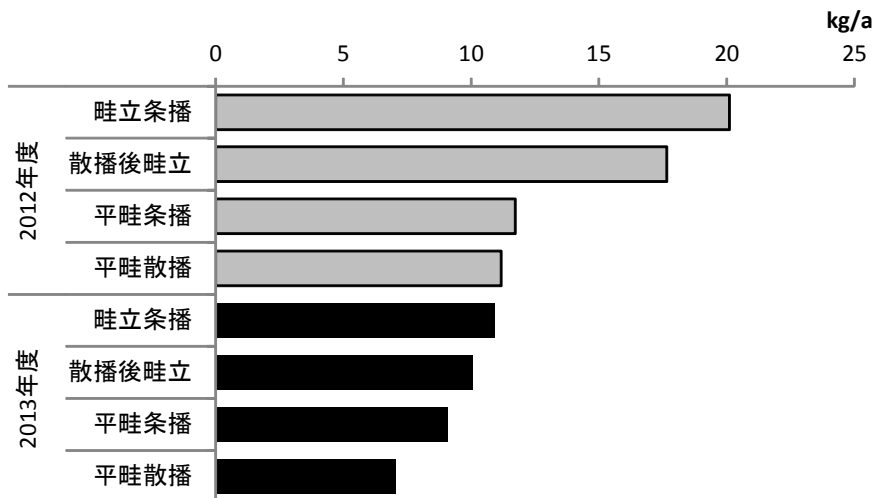


図1 水田転換畑における播種法とキラリボシの子実収量



図2 ナタネの畦立条播

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度～26年度
- (2) 研究課題名 ナタネの安定生産技術と飼料利用法の確立(ナタネ安定機械化生産技術の確立)
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

## 5 主な参考文献・資料